

新緑のなかにツツジやサツキ ～きれいな牧小、季節感あふれる教育環境～

牧之原小学校の正門から、新緑のなかにツツジやサツキが燃え立つように咲き誇っています。5月は初旬は、「五月晴れ」と言われるように日本列島が高気圧におおわれる日が多く、さわやかな日を過ごすことができます。しかし、地球温暖化のせいか、4月には25度を超える「夏日」も現れる昨今です。気温の変化に対応した衣服の着脱や天候異変による対応の仕方など心がけるよう指導し生活させたいと思います。

子供たちは、学校・教室に慣れよう、友達に関わろうといろいろな活動を通してがんばっていました。

- ・職員室・事務室への出入り 「失礼します」「失礼しました」
- ・クラス・ペア・仲良し班などで元気にあいさつ

などが身に付き、また、たくさんの友達をつくることができ、4月の目標は達成できた月でした。

P T A総会には、多くの来賓の皆様や78名の保護者の皆様の出席を得たり、1年生を迎える会にお越しいただいたり、がんばり遠足にボランティアとして御協力していただき、職員一同感謝しています。

牧之原小学校・中学校 連携教育

学校教育法36条に掲げられている中学校教育の三つ目の目標は、

小学校で培われた基本的な修養の積み重ね、また、中学校での学習により、社会に必要な職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を培うこと

と、示されています。義務教育のまとめとなる中学校においては、将来社会において自己実現が図れるような進路を適切に選択できる能力を養うことに力が注がなければならぬのですが、そのもとは小学校にあると考えます。特に、九カ年の義務教育の正否が小学校の基礎・基本の学習にかかっているととっても過言ではありません。

「学ぶ意欲」を高めるために

自分で何をやりたいのか、何に向いているのか分からないという高校生や高卒者が多いことが報道されています。このことは、九カ年の義務教育の指導内容に何か問題は無かったのか、反省する必要があります。

小学校の教育課題は、

- ・意欲的に取り組む子
- ・逞しい力を持つ子
- ・思いやりの心を持つ子
- ・牧之原を愛する子

です。学校教育を通して子供たちに身につけて欲しいことはたくさんありますが、中でも「学習意欲」はもっとも大切な内容です。子供たちは学ぶ意欲があって、一層、知識や技能、思考力や判断力を高めていくことになります。

4月は、各クラスでは学習習慣の確立・目指す授業についてのコミュニケーション能力を高めるなど、目標づくりに取り組みました。目指す授業について、話し合い出発した月でした。

5月は、大切な家庭訪問があります。「原っ子 伸び伸びシート」をもとに目標を共有し、学校と家庭が双方向に捉え、伸ばしたいと思います。7月18日から30日の間に、シートを家庭と学校で見合いながら、個別面談にて子どもの伸びを確認したいと思います。よろしくお願いします。